

一般会計補正予算

地域公共交通試行運行事業費
 予防接種事業費
 児童遊園費
 街路整備費（名古屋津島線）

2387万2千円
 1805万8千円
 1200万円
 6614万2千円
 など

平成26年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億1657万3千円を追加し、総額を255億4957万3千円とするもので、賛成多数により原案のとおり可決されました。

主な質疑

地域公共交通試行運行事業

問 ルートは。
企画政策課長 甚目寺地区を走る東部巡回ルートと、美和地区と七宝地区を巡回する西部巡回ルートを考えている。

問 車両数は。
企画政策課長 東部に1台、西部に2台、予備車両1台を考えている。

問 車両の種類は。
企画政策課長 マイクロバスを考えている。

問 運賃は。
企画政策課長 大人200円、子供100円、75歳以上と障がい者などは無料と考えている。

問 運行事業者の選定は。
企画財政部長 事業者が企画を提案するプロポーザル方式を予定している。

社会保障・税番号制度

問 事業の効果は。
企画財政部長 社会保障の給付と税の負担の公平化、国民の利便性の向上ならびに行政の効率化などが図られる。

問 今後のスケジュールは。
企画財政部長 平成27年10月より個人番号の付番通知を行い、平成28年1月より個人番号カードの発行を行う予定である。

給食センター

問 新学校給食センター検討の背景と事業内容は。
教育部長 現在の3つの学校給食センターは、建築後35年以上経過し、施設、設備が老朽化している。新学校給食センターを建設する候補地として、美和プール跡地を候補地として考えている。

事業の内容は、ボーリング調査を行う地質調査委託と、事業の進め方の検討を行う調査業務委託を考えている。

休止中の美和プール



ファミリーサ ポートセン ター事業

問 合同実施は、経費の削減が主な目的か。
子育て支援課長 経費削減の面もあるが、両市町の会員が他の市町の会員の援助を利用できるなど、利便性が向上する。

問 大治町の負担金の算出根拠は。

子育て支援課長 委託費の2分の1を均等割、残りの2分の1を人口割で算出した。

児童クラブ

問 何人の拡充か。

福祉部長 甚目寺西児童クラブを15人、甚目寺南児童クラブを25人増やす。

インフルエン ザ予防接種費 用助成

問 対象者は。

健康推進課長 満1歳から中学3年生相当の年齢までが対象。

問 小学生までは、2回接種だが。

健康推進課長 小学6年生までは、2回の接種について10000円ずつの助成を行う。

健康マイレ ージ事業

問 あま市のメニューは。

健康推進課長 がん検診や特定健診、自主的に参加するウォーキング、生活習慣病に関する取り組みなどにポイントをつける方向で考えている。

街路整備事業

問 事業の内容は。

都市計画課長 県が行う名古屋津島線バイパス事業に伴う、市道の取りつけ部分の事業費。用地費と物件補償費があり、面積は二カ所で約200平方メートルになる。

問 買収した土地が塩漬けになるのでは。

建設産業部長 可能性はあるが、県の買収に付随して市が行う形になっているので、収用の控除の関係で同時に買収しなければならぬ。

県には、なるべく早く道路をつくるよう再三申し出ており、塩漬け期間を少しでも短くしたい。

児童遊園

問 整備は何カ所予定しているか。

福祉部長 53カ所の児童遊園、ちびっ子広場を行う。

問 利用されていない児童遊園も整備を行うのか。

福祉部長 利用者が少ないところも事故が起こらないよう整備する。

討論(要旨)

【反対討論】

野中幸夫 社会保障・税番号制度は、個人番号カードを交付するが、個人情報流出とプライバシー侵害の危険が高くなり、また、なりすましによって不正使用される可能性がある。

【賛成討論】

後藤幸正 地域公共交通試行運行事業費は、試行運行とはいえ、実行に向けた予算であり、大いに期待できる。
市民活動センター事業費は、市民活動に対する支援、地域の特徴を生かした活力ある住みよい社

会づくりへの取り組みが効果的に表れている。

健康マイレージ事業などは、市民の健康づくりの啓発に寄与できる。

ファミリーサポートセンターを大治町と合同実施することにより、行政の垣根を超えた、利用者の利便性を考えた施策と期待している。

今回の補正予算は、第1次あま市総合計画を推進し、市長が掲げる力強く、健やかな勇健都市「あま」を、市民の総力で実現することを目指した予算であると評価し、賛成する。

採決結果

賛成多数により、原案のとおり可決。